

### 活動の内容や手順、関わる情報を一覧化する場合

活動内容を改めて確認し見直すことで、より一層住民ニーズを踏まえた活動に近づきます。一覧は引き継ぎ書になり、活動の継承にも役立ちます。

#### 目的

何のためにやっている活動か、達成する目標は何かを明記。携わるメンバー全員で共有しましょう。

#### 協力者・協力団体

この事業の協力者や団体を明記。他の活動でも生かせる可能性あり。

#### 参加者からの感想や意見

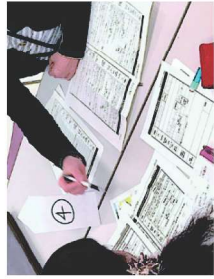
ニーズ把握や活動の質を向上させるヒントになります。

#### 人材の発掘

何かスキルをお持ちの方、活動の参加者などを記入。まめに声をかけ関係性を育みましょう。

#### やってみました!

坂中まち協では、部ごとに活動内容を洗い出して自己評価する「活動実績評価シート」を作成。活動を改めて見直し、全役員で共有することでお互いの活動への理解が深まりました。意見交換では改善の提案や励ましが多く出され、活動を統合して効率化を図るアイデアなども出されました。事業内容が一目でわかるので、新任への引き継ぎ書としても活用できます。



活動評価シートを活用

坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動実績評価シート	
酒名	坂井輪地区自主防炎会
担当事業	防火・防災部

目的	防火意識の啓発 火災の予防や初期消火の訓練を行うこと
実施期間と開催日	実施期間9月~10月 令和元年10月20日(日)19:30~22:00
対象者	坂井輪中学校区の各自治会、町内会
参加人数	約800名
開催する場所	坂井輪中学校、坂井輪小学校、新井小学校の各体育館
開催する日時	約20名
開催する費用	0円
協力者・協力団体	協力者名、団体名 坂井輪地区自主防炎会 坂井輪中学校区防火・防災部
実施までの作業手順(事後も含む)	各学級単位で自治会長等役員会で説明会を開催(区単位決定) 防火部員を中心に、避難所の内容を確認(区単位決定) 案内チラシの作成、配布準備 当日必要となる機材を準備 各自自治会へ案内チラシを全戸配布し、参加人数を把握 当日の運営準備(仮設の確保、道具の準備) → 避難所へ参加者 実施後の片付け、反省会
成果	約800名の住民が参加し、平日をかけた防災訓練を行ったことで、一定の意識向上につなげることができた。 訓練の結果、○○や○○といった課題を新たに見つけることができ
参加者からの感想や意見	消防 行政依存から住民主体の訓練に移行しつつあるのでは、という声も聞かれた。 参加者 自己満足がある程度の訓練は満足できなくもなっている。もっと実践に合った方法があったのではと反響している。伝統ある事業であるし、先人の知恵やノウハウを継承していきたい。参加者の訓練に変更したことについて、参加者から反響があった。
評価	体中自治会長等が交代しており、運営に貢献したついでに感謝状を渡さなくてもいいかもしれない。もっと実践に合った方法があったのではと反響している。伝統ある事業であるし、先人の知恵やノウハウを継承していきたい。参加者の訓練に変更したことについて、参加者から反響があった。
人材の発掘	参加者からの感想や意見 参加者 自己満足がある程度の訓練は満足できなくもなっている。もっと実践に合った方法があったのではと反響している。伝統ある事業であるし、先人の知恵やノウハウを継承していきたい。参加者の訓練に変更したことについて、参加者から反響があった。
実施後に自己評価	実施後に自己評価 実施後に自己評価 実施後に自己評価



### ステップ3 住民の思いやニーズを探る 住民アンケートの実施

「住民アンケート」は、さまざまな理由で日頃の思いを伝えられない方々の意見を吸い上げることができる方法です。地域の明るい未来へ向けた取り組みを検討するため、幅広い世代を対象に行いましょう。数字や数量で結果を得られるので、課題解決に取り組み優先順位をつける参考になり、活動を見直すきっかけになります。集計結果・分析は共有することが大切です。住民の関心が高まり、課題を自分ごとに考えるきっかけになります。

#### 地域の声を確実にとらえる住民アンケートを行うには?

#### ● 目的と結果の生かし方を明確にし、組織内で共通認識を持つ

アンケートの実施が目的とならないよう、「何のために行うか」「どう生かすか」をまず明確にします。自治会・町内会の協力も必要で、時間と労力もかかります。勉強会などで目的や生かし方、作業内容などしっかりと共有しましょう。

#### ● 質問は答えやすいように設定する

このアンケートは住民個別の要望を聞くのではなく、幅広い世代の意識や認識を「見える化」するためのものです。質問はどの年齢層でも答えられる内容にします。数値化できる選択肢形式を中心とし、自由記入は最小限にします。

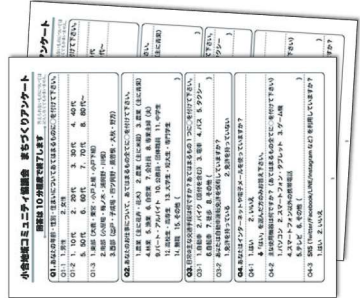
#### ● 各世代の声を把握するため世帯ではなく個人が回答する

世帯に1通だと、世帯主など年配者が回答する傾向があり、高齢世代に寄った結果になりがちです。少数派の若い世代の声も反映させるため、中学生以上を対象に1人1通で回答してもらいます。1通ずつ封筒に入れ、プライバシーに配慮しましょう。

#### ● 今後の活動に生かすため、回収率を高める

今後の活動に生かすため幅広い声を集めるには、回収率を高めることが重要です。そのため、調査票の配布・回収は手渡しを基本としています。自治会・町内会に協力してもらい、確実に回答を得られるようにしましょう。

[新潟市ホームページ] [https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/shimin/community/model\\_present.html](https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/shimin/community/model_present.html)



小会コミ協と坂中まち協では住民アンケートを実施。詳細は新潟市ホームページで紹介しています。

詳細はこちらから▶



https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/shimin/community/model\_present.html



坂中まち協は大規模です。全住民にアンケートを取ることは難しいと判断し、坂井輪地区内の3つの小学校区のバランスを考慮して対象とする自治会を絞り、約3,000人の住民と、坂井輪中学校2年生全員に依頼しました。データ入力説明会には約20人が参加(写真)。エクセルを使った入力方法を学び、手分けして入力作業を行いました。結果は活動実績評価シートとリンクさせ、今後の活動へ生かしていきます。